

2016年度「食と農免疫合同講義」第3・4回特別講義を開催

2016年7月8日（金）3・4講時にオランダ・ワグニンゲン大学のDr. Maria ForlenzaとDr. Geert Wiegertjesによる「食と農免疫特別講義」（第3回と4回）が実施されました。お二人はご夫婦で、Dr. Wiegertjesが研究科長裁量経費により本研究科に外国人研究員として約1か月間滞在されるのに合わせ奥様も短期間仙台に滞在されました。Dr. Forlenzaは「Fundamental and applied aspects of the carp immune system」そしてDr. Wiegertjesは「Innate immunity of carp」と題し、主にコイ科魚類における免疫に関する最新の研究成果を丁寧に紹介してくださいました。当日は教員以外にも院生・4年生が聴講し、講演後は活発な質疑応答がなされ我々にとってとてもよい刺激になりました。本学滞在中にDr. WiegertjesはCFAIメンバーを中心とした教員と意見交換したり、学生らとの交流をしたりしながら有意義に過ごされたと伺っています。またDr. Wiegertjesには、本年9月下旬にオランダ・ライデン大学ロレンツセンターでCFAIが中心となり開催予定の国際ワークショップ「Innate Immunity of Crop, Livestock and Fish-The Dawn of Agricultural Immunology」で再びお世話になる予定です。

このような交流を通して学術協定を結んだワグニンゲン大と本学との関係が今後さらに加速・発展していくことでしょう。